

第4回浦安市学校間連携教育実施方針策定委員会 議事録（要旨）

1. 開催日時 令和8年2月12日（木）午後6時00分～7時10分

2. 開催場所 浦安市役所4階 災害対策本部室

3. 出席者

（委員） 山本委員長、加藤委員、宮川委員、大橋委員
鈴木委員、落合委員、米倉委員
森委員、秋本委員、近藤委員、山崎委員（計11名）

（事務局） 教育総務部次長、教育政策課長、教育政策課主幹、
指導課長、学務課長、教育政策課職員

4. 議題

- （1）第3回策定委員会でのご意見について
- （2）教職員意見聴取結果について
- （3）浦安市学校間連携教育実施方針（案）について

5. 会議経過

（1）第3回策定委員会でのご意見について
事務局より、前回のおさらいを行った。

（2）教職員意見聴取結果について
事務局より、教職員への意見聴取結果について報告を行った。

【主なご意見】

- 教育委員会では教職員が子どもと向き合う時間を確保できるよう働き方改革を進めており、長時間勤務の減少など一定の効果も見え始めている。一方で、新しい取組を進めるには、単に何かをやめるということではなく、既存業務を整理し、効率的に進める視点が重要と考えている。また、明海大学との連携協定に基づく学生ボランティアの活用など、外部の協力も得ながら、今後も学校支援の充実に取り組んでいく考えである。
- 最初から完璧を目指すのではなく、まずはとりあえずやってみるという姿勢が重要だと思う。やってみて、問題が出たらその都度改善していく進め方が望ましい。入念な計画・打合せや文書作成はかえって負担が大きくなるのではないか。
- 学校だけで業務を抱え込まず、地域住民やPTA、おやじの会などは、声をかけてもらえば協力したいと思う人は多い。地域でできることは地域に任せ、先生方は本来注力すべきことに集中してもらいたい。また、地域を巻き込む際に楽しさを伝えるのも大事だと思う。
- 来年度に取組が始まった後、学校と教育委員会のみで改善や修正が進められてしまうのか懸念している。意見や議論の場はこれで終了なのか。
- （事務局回答）各学校のコミュニティ・スクールの仕組みを活用し、保護者や地域の方、学校と意見を交換しながら進めていくことを想定している。教育委員会も、学校、校長会等と連携しながら各校の実践を共有していきたい。
- PTA活動が活発な地区とそうでない地区で学校と保護者の関わり方に差が出ていると感じてい

る。今後、協力体制に地域差が生じ、取組の差が広がらないか不安を持っている。

- 校長会としても学校間で差が生じないよう配慮する必要があると考えている。学校任せにするのではなく、好事例など広く情報共有しながら、他校でも実践可能なものは取り入れ、一体的に進めていく方針である。

(3) 浦安市学校間連携教育実施方針（案）について

事務局より、実施方針の最終素案について説明を行った。

【主なご意見】

- リンケージスクールを推進するにあたって、地域との連携やコミュニティ・スクールの仕組みを活用するが、現状では教頭の負担が大きく、設置だけで手一杯になっている。まだ導入から間もないということで、十分に活用や発展まで進められるよう、今後少しずつ取り組みたい。
- CS やリンケージスクールをより充実させていくためにも、地域人材の発掘を学校だけではなく、行政の協力を得られるとありがたい。
- まち探検等の小中の交流は単発ではなく、前後学習を含めての交流が必要だと考えている。学校同士の距離・移動時間等の課題があるものの、まずはやってみようの精神で取り組みたい。
- 先日、教育課程を管理する先生方と会う機会があったが、本当に先生方が楽しそうに、生き生きとこれまでリンケージスクールの準備をしてきた内容について話してくれた。まだやってみないとわからないことがたくさんあるが、先生方も本当に頑張ってくれているので、校長会での連携や、評価の部分も丁寧に行い、子どもたちの豊かな人間性を育むために、校長会も一緒に進めていきたいと思う。
- リンケージスクールのゴールは、特別なことではなく当たり前に行われる状態になることだと思う。そのためにも、これから10～20年後を担う若手の先生に考えてもらって、失敗を重ねながらも試行錯誤して、新しい文化を作ってもらいたい。

6. 傍聴4名

問い合わせ先

教育総務部教育政策課 電話 047-712-6732（直通）